

環境経営レポート

2019年度

(対象期間: 2019年1月～2019年12月)



《佐賀県佐賀市 嘉瀬川の熱気球と天山景観》

発行日: 2020年3月31日

服巻建設 株式会社

目次

1. 組織の概要	p.1
2. 認証・登録の対象範囲	p.1
3. 環境経営方針	p.2
4. 環境経営目標	p.3
5. 環境経営計画	p.4
6. 環境経営目標の実績	p.5
7. 環境経営活動計画の取組結果と その評価、並びに今後の取組内容	p.6
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	p.7
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	p.8

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 服巻建設 株式会社
代表者氏名 代表取締役 松尾 裕之
- 2) 所在地 本 社 〒845-0002 佐賀県小城市小城町畑田 988番地1
- 3) 環境管理責任者 常務取締役 中村 茂美
担当者 総務部 笠原 明子
連絡先 TEL0952-71-1005 FAX 0952-72-1799
Eメールアドレス haramaki@mx81.tiki.ne.jp
- 4) 事業の内容 建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業
- 5) 事業の規模 総売上額: 210 百万円
- | | 単位 | 本 社 |
|------|----------------|-----|
| 従業員数 | 人 | 8 |
| 延床面積 | m ² | 196 |
- 6) 事業年度 2019年1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲

上記の全組織及び全活動

- 1) 対象事業所 本社
2) 事業活動 上記の事業内容

環境経営方針

服巻建設 株式会社 は、天山水景の麓に位置し、小城清水の清流豊かな環境の中で建設工事を通じて、この環境の保全と汚染の予防に努めることを全社員が自覚し『環境にやさしい社会づくり』に取り組みます。

1. 次の事項に取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
- (2) 建設にともなう産業廃棄物及び事業系一般廃棄物の排出量削減
- (3) 水使用量の削減
- (4) 資材、事務用品等のグリーン購入推進
- (5) 本業における環境貢献の推進

2. 関係する環境関連法規等を遵守します。

制定日 平成29年11月29日

服巻建設 株式会社

代表取締役 松尾 裕之

4. 環境経営目標

活動期間 (2019年1月～12月)

環境目標	単位	基準年 2017年度	年度			
			2018年度 (1%削減)	2019年度 (2%削減)	2020年度 (3%削減)	2021年度 (4%削減)
		2017年 1月～12月	2018年 1月～12月	2019年 1月～12月	2020年 1月～12月	2021年 1月～12月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	11,920	11,800	11,680	11,560	11,443
(1) 電気使用量削減	kWh	12,749	12,621	12,494	12,366	12,239
事務所	kWh	10,554	10,448	10,343	10,237	10,132
現場	kWh	2,195	2,173	2,151	2,129	2,107
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	2,381	2,357	2,333	2,309	2,286
事務所	ℓ	2,328	2,305	2,281	2,258	2,235
現場	ℓ	53	52	52	51	51
(3) 軽油使用量削減	ℓ	44	44	43	43	42
現場	ℓ	44	44	43	43	42
2. 廃棄物排出量の削減	kg					
一般廃棄物排出量の削減	kg	288	285	282	279	276
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	100	100	100	100	100
3. 水使用量の削減	m ³					
事務所	m ³	42	42	41	41	40
現場	m ³	15	15	15	15	14
4. グリーン購入の推進	%	38	39	40	41	42
5. 省資源・省エネ型設計・施工の推進	件	7	8	9	10	11

二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は九州電力

平成28年度の二酸化炭素調整後排出係数(0.483kg-CO₂/kWh)を使用しています。



pixta.jp - 46614533

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		部門（責任者）	日程
電気使用量削減	使用していないパソコンの電源を切る 昼休み時間の消灯 照明器具、空調機フィルター清掃	笠原 明子	2019年1月～12月迄
ガソリン使用量削減	急発進、急加速、急減速の禁止 不要な荷物は積まない	中村 茂美	2019年1月～12月迄
軽油使用量削減	急発進、急加速、急減速の禁止 不要な荷物は積まない 定期点検の実施	小柳 敏之	2019年1月～12月迄

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		部門（責任者）	日程
一般廃棄物	分別によるリサイクルの推進	笠原 明子	2019年1月～12月迄
	コピー用紙裏紙の利用	小柳 敏之	
産業廃棄物	転用可能な資材の活用の推進	小柳 敏之	2019年1月～12月迄

3. 水使用量削減

活動項目		部門（責任者）	日程
節水ラベルの貼付け		笠原 明子	2019年1月～12月迄

4. グリーン購入推進(事務用品)

活動項目		部門（責任者）	日程
グリーン相当事務用品の調査購入		笠原 明子	2019年1月～12月迄

4-2. グリーン購入推進(建設資機材)

活動項目		部門（責任者）	日程
再生品利用の向上提案		小柳 敏之	2019年1月～12月迄

5. 省資源・省エネ型設計・施工の推進

活動項目		部門（責任者）	日程
施工機械を環境に配慮した機械の使用を推進する		小柳 敏之	2019年1月～12月迄

6. 環境経営目標の実績

活動期間(試行期間:2019年1月～12月)

環境目標	単位	基準年 (2017年度)	2019年1月～12月			
			目標	実績	評価	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	11,920	11,680	13,459	×	
(1) 電気使用量削減	kWh	12,749	12,494	13,983	×	事務所使用量は気候が穏やかで削減出来たが現場は工事の状況により比例して増えた。
事務所	kWh	10,554	10,343	9,975	○	
現場	kWh	2,195	2,151	4,008	×	
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	2,381	2,333	2,396	×	ガソリン使用料も電気使用量と同様に現場状況により増加している。
事務所	ℓ	2,328	2,281	852	○	
現場	ℓ	53	52	1,544	×	
(3) 軽油使用量削減	ℓ					
現場	ℓ	44	43	438	×	上記と同様
2. 廃棄物排出量の削減	kg					
一般廃棄物排出量の削減	kg	288	282	338	×	雑誌・段ボール等は100%リサイクル出来ている。
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	100	100	89	×	
3. 水使用量の削減	m ³					
事務所	m ³	42	41	50	×	事務内作業にて増
現場	m ³	15	15	32	×	
4. グリーン購入の推進	%	38	40	79	○	アスクル利用購入
5. 省資源・省エネ型設計・施工の推進	件	7	9	13	○	

二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は九州電力 平成28年度の二酸化炭素調整後排出係数(0.483kg-CO₂/kWh)を使用しています。



7. 環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の取組み内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況	1年間の評価	次年度の取組
		1月～12月		
電気使用量削減	こまめな消灯	○	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないパソコンの電源を切る ・出来る限り不要な照明等の消灯を行った。 ・スイッチ付近に節電ラベルを貼り付け ・空調機のフィルター定期清掃を行った。 ・急発進、急加速等に気を付けた。 ・アイドリングストップに気を配った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな消灯 ・エアコンの適温調整 ・エアコンの定期清掃 ・今後もガソリン、軽油使用量削減を意識していく。
	エアコンの適温調整	×		
	照明器具、空調機の定期清掃	○		
ガソリン使用量削減	急発進、急加速等の禁止	○	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速等に気を付けた。 ・アイドリングストップに気を配った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな消灯 ・エアコンの適温調整 ・エアコンの定期清掃 ・今後もガソリン、軽油使用量削減を意識していく。
	不要な荷物は積まない	○		
軽油使用量削減	急発進、急加速等の禁止 不要な荷物は積まない 定期点検の実施	○		

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況	1年間の評価	次年度の取組
		1月～12月		
一般廃棄物	分別によるリサイクルの推進	○	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙の使用頻度を増やした。 ・分別によるリサイクルの推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も社内ランを活用し、無駄な用紙の使用しない。 ・現場の産廃等は再資源化する。
	コピー用紙の裏紙利用	○		
産業廃棄物	転用可能な資材の活用推進	○		

3. 水使用量削減

活動項目		実施状況	1年間の評価	次年度の取組
		1月～12月		
こまめな節水	節水ラベルの貼付け	○	<ul style="list-style-type: none"> ・節水に努めた。 ・節水ラベルを貼付けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も節水に努める
		○		

4. グリーン購入推進(事務用品)

活動項目		実施状況	1年間の評価	次年度の取組
		1月～12月		
グリーン相当事務用品の調査購入		○	<ul style="list-style-type: none"> ・アスクルのエコ商品を利用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン製品の購入に努める

4-2. グリーン購入推進(建設資機材)

活動項目		実施状況	1年間の評価	次年度の取組
		1月～12月		
再生品利用の率の向上提案		○	<ul style="list-style-type: none"> 再生品利用の提案は各現場にて推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生品利用率の向上提案

5. 省資源・省エネ型設計・施工の推進

活動項目		実施状況	1年間の評価	次年度の取組
		1月～12月		
施工機械等の環境に配慮した機械の推進		○	<ul style="list-style-type: none"> ・工事現場の件数で左右されるが毎回の提案は出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設機械等、環境に配慮している

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、関する環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	一定規模以上の建築4品目の分別解体と再資源化
建設業法	建設業許可
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
浄化槽法	浄化槽の管理、保守点検、法定点検の実施
フロン排出抑制法	簡易定期点検の実施

令和2年3月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 評価

- ・ EA21の取り組み3年目に入り最初の本審査・中間審査を経験し、社員全員がエコに対し意識を持って現場運営に取り組んでいる。
- ・ 又、会社にて取り組んだ事を積極的に家庭や地域に生かしてもらえれば、直一層の環境保全に繋がる事と自覚をもって行動して欲しい。
- ・ 今後も猛暑に備えて暑さ対策が必要となるが、作業に支障なく省エネに努めていくようにする。

2. 見直し

- ・ 社内での省エネ意識は出来ているが、現場の二酸化炭素排出量の基準目標値を今までの消費統計にて見直しが必要かと思われる。
- ・ その年々に依って現場の数や規模が大きく異なる為、容易には目標値が出せない。

3. 環境経営方針、環境経営活動計画、環境経営目標の内容は変更せずにこのまま継続する。

- ・ 今年度は思わぬ大水害に見舞われ、現場では災害復旧の対応等が発生した。今後も同様の災害が発生する事が見込まれるので、緊急事態への準備・対応策を講じていく必要がある。



服巻建設 株式会社
代表取締役 松尾 裕之